

研究主題 児童生徒が自分らしさを発揮できる授業づくり

主題設定の理由

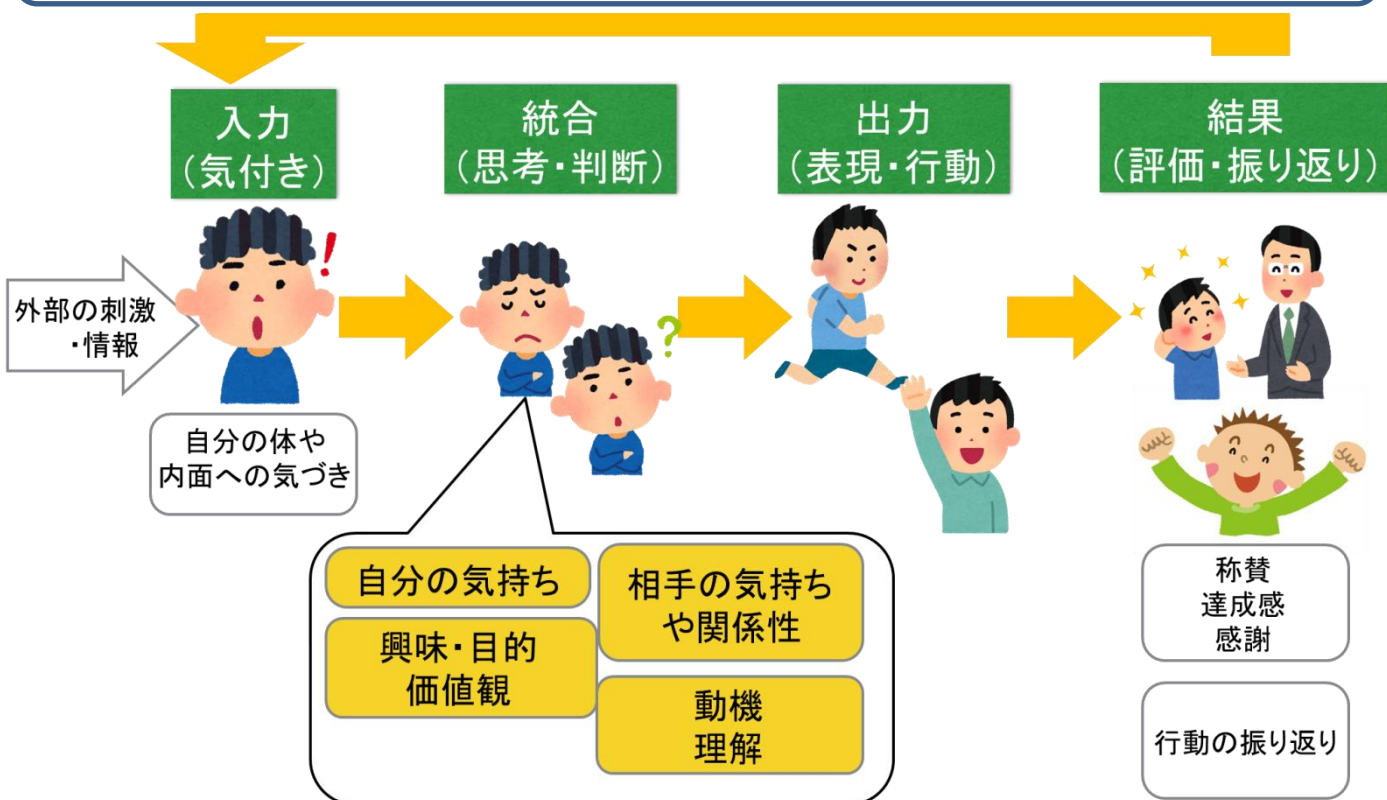


研究仮説

集団や活動場所を広げることを意識した単元を設定し、授業の中での「自分らしさ」を具体化し、「気づき、考え、判断し、表現する」ための手立てを検討するなどの授業改善を積み重ねることで、児童生徒が自分らしさを発揮し、主体的に学習に向かう姿を育むことができるだろう。

授業の中で自分らしさを発揮するとは？

役割を果たすことを通して、気づき、考え、判断し、表現（行動）しながら、他者と関わること。



研究の方法

個別の支援計画作成等を通じた「育てたい力」の確認と検討



昨年度設定した「児童生徒一人一人の育てたい力」の確認と検討と個別の支援計画への反映

地域資源の活用、集団や活動場所を広げることを意識した単元計画の作成



地域資源の活用

集団や活動場所の広がり

授業改善コーディネーターを活用した単元構想会

授業の中で一人一人の児童生徒の「自分らしさを発揮する姿」の具体化と共通理解



育てたい力



実態把握



個別の指導計画

自分らしさを
発揮する姿

指導案
個別の目標
本時の目標
に反映

授業づくりにおいて大事にしたいポイントを共有した授業づくり

横手のスタンダード

授業づくり振り返りシート

授業づくりのポイントを共有することで
授業の質の維持、向上

授業改善の成果と課題の蓄積、全職員による共有

授業研究会の内容

授業参観
の視点を
焦点化

改善案の提示
を目的とする



改善授業
へ

実践の蓄積

改善前の課題

改善後の変容

成果

課題

次回の授業
研究会へ